

# アスファルト含浸シート特集

東洋紡績(株) 山田 知 正

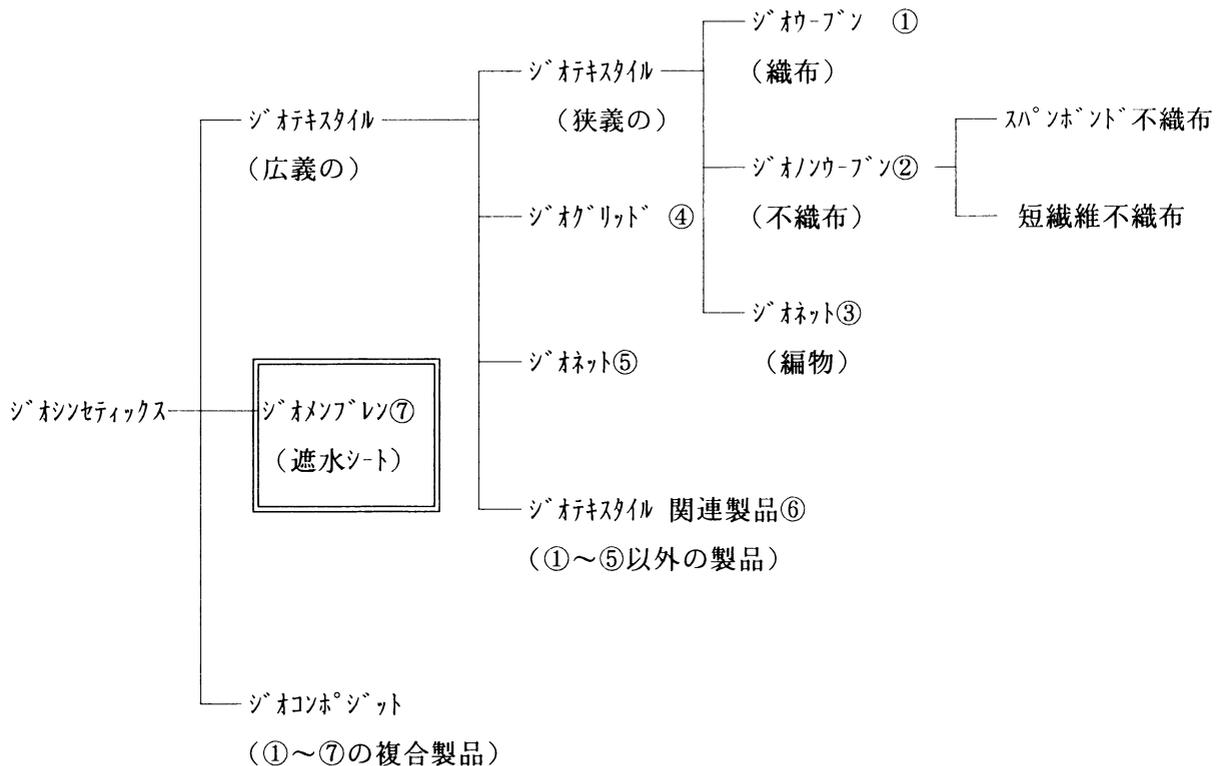
## 1. はじめに

今月号では『アスファルト含浸シート特集』を企画致しました。巻頭言でIGS理事赤木先生より、『IGSのG』の中で述べられている様に、ジオテキスタイルからジオシンセティックスと呼称が変わり、ジオメンブレン(遮水シート)が包含され、土木シート、土木マットと称されるすべてがIGSの仲間として認められることになりました。

今回はジオメンブレンの種類の中のアスファルト含浸シートについて、紹介させて頂くことと致します。

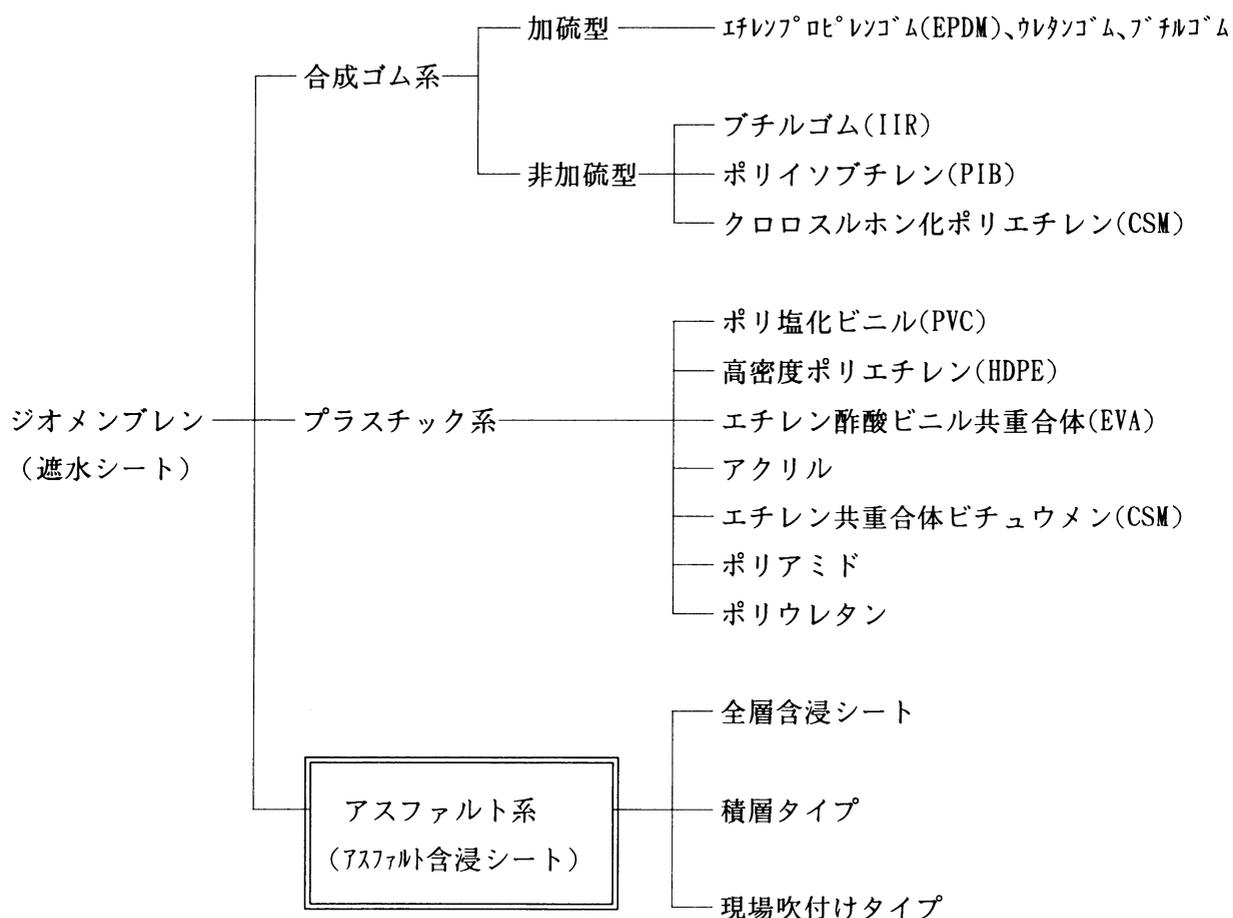
## 2. ジオシンセティックスの種類

ジオメンブレン(遮水シート)の位置付けを下記に紹介します。



### 3. ジオメンブレン（遮水シート）の種類

下記のような分類に大別されます。



### 4. まとめ

アスファルト含浸シートの歴史は古く、紙、織布、不織布等の基材にアスファルトを含浸させて、建物の屋上防水（アスファルトルーフィング）に使用されております。屋上防水におけるアスファルト含浸シートの信頼性は非常に高く、10年以上の保証にも応じており、屋上防水の50％程度がアスファルト含浸シートで占められている現実は注目に値します。

屋上防水での過酷な条件下（夏場90℃以上 冬場-20℃以下）に於て、確実に優秀な防水性能を持ち合わせていることは周知の事実です。アスファルト含浸シートは、今後、その特異な機能を発揮できる溜池・処分場・橋梁防水・地下防水その他土木防水に活躍すると思います。

次頁以下では含浸シート6社の材料紹介コーナーを設けました。6社以外にも含浸シートメーカーが多々ありますが、その中の一部の会社の材料紹介とさせていただきます。